

Sリテ

「SSリテラシー」リニューアル記念

プログラム紹介 Part2

今回も新しくなったSSリテラシーのプログラム内容を紹介します！

グループで話し合うスキルや思考法を実践的に身に付けられるプログラムです。



クイズが解けた生徒が、未だ解けていないみんなのためにボードに書いて説明中



情報過多で混乱したら、要点を書き出したり図示したりすると整頓しやすいよ

批判したくなるけど、今は「黄色」だから肯定的な意見を出さなくちゃ。



賛成



ジャッジ

反対



図南雄飛
~ Se ambizioso ~

KOYO

program5 クリティカルシンキング

探究活動では得た情報を鵜呑みにせず、常に真偽を判断する必要があります。これは日常生活でも必要なスキルです。そこで、情報を整理し、理解するクリティカルシンキングを行い、ごちゃごちゃしている文字情報をまとめ、「誰が嘘を付いているのか」考えるグループワークを行いました。また、「優秀なピッチャー確保の難しい原因」の妥当な回答について、仮定を用いて理論的に考えました。

(感想)

クリティカルシンキングが「多方面から分析をし、問題解決に導く思考」の事だと理解する事ができた。(3組 Cさん)

program6 いつもと違う考えの自分に!「6色の帽子」

人にはそれぞれ考え方のクセがあります。6つの思考を体験する事で自分のクセに気づき、様々な視点から意見を出せるよう練習します。今回は「マイクロプラスチック問題を解決するには?」について、以下の6つの思考で意見を出し合いました。

客観・中立 主観・直感 否定・悲観 肯定・楽観 創造・革命 管理・統括

(感想)

自分は赤色に近い考えで、黒色は否定的でありあまり良くないイメージだったけど、リスクをしっかりと考えているという良いところもあるとわかった。探求する時に色々な視点から課題を見つけられそうだった。(4組 Sさん)

program7 マイクロディベート

ディベートは「賛成・反対」に分かれて審判を説得する試合(ゲーム)です。相手を尊重しつつ、根拠に基づいて立論する必要があります。マイクロディベートは立論・反論・ジャッジ・振り返りを短時間で区切り、リズム良くディベートを行う事ができます。

(感想)

人の数だけ多くの意見があって、ジャッジが難しかった。ただ、現実的で道筋の通った意見のほうがいずれ説得力があったので、今後の探究時には理論的に考えて意見が言えるようにしたい。(6組 Kさん)

program8 納期に間に合せ!デザインアイデア提案

物事に期限は付きもの..限られた時間で課題を仕上げるためには「チームでの役割分担や時間配分」を考え、みんなで協力して取り組む必要があります。この取り組みでは、チームで協働するための判断力や行動力を身に付けることができます。今年は「向陽タオルデザイン」や「かりゆしウエアデザイン」を行いました。

(感想)

同じ向陽高校でも連想するものが一人一人違って、案を見るのが楽しかった。

(6組 Tさん)

考えが思いつかない時はAIを使って調べてみるのもいいなと思った。でもAIが全て正しいわけではないから、ネットリテラシーを身につける必要がある。

(5組 Tさん)

向陽タオルデザイン案